

霞ヶ浦漁業研究会が設立しました（平成 27 年 12 月 9 日）

このたび、当組合では霞ヶ浦漁業のさらなる活性化を図るため、組合員の中から若手漁業者を募り、品質向上や販路拡大、広報PRのための取材対応などに積極的に取り組んでいくための中核となる組織を発足させることとし、去る12月9日に「霞ヶ浦漁業研究会」を設立しました。

現在のところ7名と少数精鋭でのスタートとなりましたが、初会合となる12月9日の会議では、県の水産事務所や水産試験場の職員も交えて、現在の霞ヶ浦漁業が抱える課題や今後の活動内容などについて、約3時間にもおよぶ活発な議論が行われました。

その結果、当面の具体的な活動として、間もなく操業期間が終了するトロール漁業の漁獲物であるワカサギやシラウオなどの資源を、操業期間終了後にも有効に活用するための冷凍保管方法の検討や、年末に漁獲される「寒曳きワカサギ・シラウオ」の知名度を向上させるための県庁食堂を利用した広報PRなどに取り組むこととなりました。

また、霞ヶ浦北浦地区内の他漁協や水産加工組合にも呼びかけ、国内有数の淡水漁業産地としての活性化対策を進めていく方針です。

今後の研究会活動にご期待下さい。



平成 27 年 12 月 9 日 初会合の様子